

平成 28 年度第 1 回作井技術委員会議事録

作井技術委員会 事務局 寺口敬秀

開催日時：平成 28 年 10 月 7 日（金）15:00~17:30

開催場所：日本海洋掘削株式会社 5 階 5M-1, 2 会議室

参加者：古谷委員長、末永、石黒、菅野、池田、工藤、長縄、須藤、古井、長野、小林、住廣、坂井、大野、田坂、中村、菊池、長久保、小川、中台、門傳、木崎、遠藤、重満、木下^晴、板倉、鷺野、薄ヶ谷、吉田、木下^奈、藤井、峰、寺口（31 名）

欠席者：日野、藁谷、福嶋、佐藤、前田、佐々木、藤田、五十嵐、村瀬（9 名）

◇作井技術委員会◇（15:00-16:10）

議題 1：作井技術委員の交代

➤ 幹事会社が JAPEX⇒JDC に移行。委員長は JAPEX 武村氏⇒JDC 古谷氏へ交代。

➤ 運営幹事変更

【退任】JDC 尾上氏、JAPEX 戸田氏、INPEX 田村氏、出光興産福嶋氏（予定）

【就任】JDC 末永氏、MQJ 石黒氏、JAPEX 菅野氏、INPEX 藁谷氏

➤ 委員

【退任】JOGMEC 稲田氏、関東天然瓦斯伊木氏、JX 森山氏、SKE 大門氏、シュルンベルジェ高橋氏、エヌケーケーシームレス鋼管岡本氏、新日鐵住金岩本氏、ダイキン工業鷺野氏

【就任】JOGMEC 長野氏、関東天然瓦斯大野氏、JX 田坂氏、SKE 中村氏、シュルンベルジェ門傳氏、エヌケーケーシームレス鋼管木下氏、新日鐵住金村瀬氏、ダイキン工業薄ヶ谷氏

➤ 事務局

【退任】JAPEX 片岡氏

【就任】JDC 寺口氏（代表）、JDC 藤井氏、JDC 木下氏、MQJ 峰氏

議題 2：平成 27 年度活動実績概要

事務局より以下の活動報告があった。

- （1）運営幹事会
- （2）作井技術委員会
- （3）大水深分科会
- （4）決算報告

議題3：平成28年度春季講演会作井部門の総括

3-1. 参加人数

- 作井技術委員会の会員数は伸びているが、シンポジウム参加者は減少傾向。個人講演もほぼ横ばいが続いている。
- 懇親会参加者については、昨年度と比べ全体参加者は減少したが、学生の参加者が増加した。

3-2. アンケート結果（シンポジウムについて）

- アンケートでは23/90名（25.6%）の有効回答が得られ、以下のような意見が出た。
 - 1) シンポジウムの総評
 1. 若手・シニア両方の意見を聞くことができ、教育・技術継承を考える上での重要な材料になった。
 2. 各社の「理想の技術者増」の考え方とそのための各社の方針を知ることができ、方針再考に役立つ。
 3. 若手とシニアの穴をどのように埋めるか、人材育成プログラムの必要性やその環境づくり、さらにはMentorの教育もそれ以上に重要であると認識した。
 - 2) シンポジウムの改善点
 1. グループワークでの議題がはっきりしておらず何を話して良いかわからなかった。
 2. 発言する世代の偏りがあったため発言機会を均等にするべき。
 3. プレゼン時間を守るよう時間管理をするべき。
 - World cafe形式でのシンポジウムは2回目だったが良かった。次回以降も引き続き採用したい。ただし、年代を混ぜるかバラバラにするかは今後も検討する。
 - 若手とシニアで意見の対立を予想したが、若手もシニアも概ね同じ意見であったため、盛り上がり欠けてしまった部分もある。
 - 3) シンポジウムで扱って欲しいテーマ
 - 業界の発展に向けて、業界の現状と展望の内容やDeep Water Horizonの油流失事故などの安全対策の内容を希望する案が多く出ている。
 - 来年度のシンポジウムテーマ、討論形式については次回以降の運営幹事会にて協議

3-3. 個人講演について

- 個人講演は16件行われ、評価の高かった個人講演5件、学生発表1件、ポスター発表1件を会誌掲載へ勧めるよう古谷委員長名義で各講演者へ案内を出したが、現時点では原稿の投稿はされていない。
- 学生優秀発表受賞者は、会誌第81巻第5号に掲載に向け執筆中。

3-4. シンポジウム原稿の会誌掲載について

- 会誌 81 巻第 5 号に掲載予定。
- 全ての原稿執筆・査読・修正は終了し、9/28 に作井事務局より会誌編集委員へ提出済。

議題 4：各活動報告

4-1. 大水深掘削技術分科会

- 第 22 回会合を 9/13 に実施した。25 名が参加、以下の内容について協議した。
 1. ドリルパイプの靱性（エヌケーケーシームレス鋼管佐倉氏）
 2. 大水深トピックス Huisman 社の掘削機器（日本海洋掘削前田氏）
- 次回は「大水深用泥水システムの現状と技術課題」（テルナイト藤井氏）を予定（開催時期は未定）。

4-2. 協会理事会第 81 期第 1～3 回

事務局より以下のトピックスについて説明があった。

①会員の異動

- 深田サルベージ建設㈱が賛助会員として新たに参加。

②平成 28 年度秋季講演会開催について（10/20 東京大学小柴ホール）

- テーマ「ダイバーシティマネジメント」多様な人材を広く登用し活性化させる

③石油鉱業連盟との業務委託契約締結について

- 石鉱連より、「石鉱連と石油技術協会の関係が明確ではない」という指摘があり、業務委託契約締結に当たって以下の 3 つの条件を明らかにするよう求められた。
 1. 収支等の提示
 2. 石鉱連業務への石油技術協会の貢献
 3. 石鉱連と石油技術協会両者に納得のいく支援スキームの協議

④協会運営検討ワーキンググループの設置、およびコスト削減・収入増加案の検討

- 収支見直しを行った結果、財務体制の改善が必要と判断し設立することとなった。
- 作井技術委員会からは末永氏を選出することに決定。
- コスト削減・収入増加案について、会費を上げる、受託業務、講演会入場料、会誌をデジタル媒体で配信などの案が検討されている。

⑤会計報告

⑥平成 28 年度特別見学会（10/27 開催予定・地質編）の案内

⑦平成 29 年度定時総会および春季講演会の案内

- 会場：国立オリンピック青少年総合センター（東京・代々木）
- 日程：2017 年 6 月 13 日～15 日（3 日間）

議題 5：平成 28 年度作井技術委員会の活動計画の審議

古谷委員長より下記について説明があり委員によって承認された。

- (1) 活動方針
- (2) 年間スケジュール
- (3) 活動費予算

◇特別講演◇ (16:20-17:30)

演題：「ヒューマンファクターの基礎 -人間の行動の特性を考える-」

講演者：友本潤（日本マントル・クエスト株式会社）

以上